

インボイス中止せよ！ 全中連決起集会！

9月14日（木）にインボイス中止を求めて、東京都内で全国中小業者決起集会が行われました。民商も参加する全国中小業者団体連絡会（全中連）が主催しました。

愛商連の仲間とともに尾北民商からも吉川婦人部長ら2人が参加し、集会に先立って午前中は、皆さんから預かった署名を手に、国会議員への要請行動を行いました。

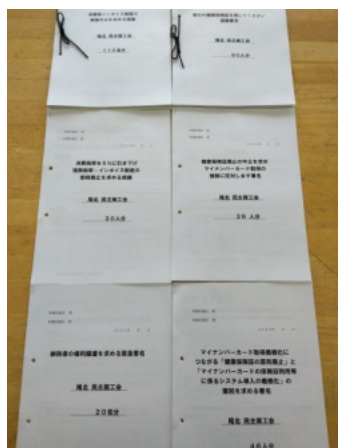


午後集会では、開会あいさつを行った太田代表幹事が「岸田内閣は巨額の軍事費で軍拡競争に対応するというのが、平和でこそ営業・暮らしは守られる。インボイスではなく、消費税減税を求めよう」と訴えました。

各加盟団体の代表からも訴えが行われ、来賓のあいさつ

がされた後、インボイス中止、消費税減税、保険証残せ、岸田政権打倒の共同呼びかける集会アピールが採択されました。

インボイス制度の導入を許せば免税業者を淘汰してしまいます。民商はこれからもインボイス中止の運動を続けます。



尾北民商から届けた署名の束です。



2023年
9月25日号
TEL 0587-54-0524
FAX 0587-54-1390

愛知県交渉で業者の実情を訴えました！

愛商連と愛知県の交渉に参加しました。今年9月12日（火）に行われ、愛知の民商から代表が集まりました。共産党が県議会で議席を回復したことで、交渉の会場を愛知県議会棟に戻すことができました。

あらかじめ要望書を提出し、文書で回答を受け取ったうえで、今、コロナ禍の売上げ減と物価高騰にさらされている業者本人たちの、生の声による訴えが行われました。

出席した県の各部局へ、中小業者の実情をどの

ように認識しているか、県・担当部局でどのような施策が必要だと考えているか、の質問・応答が行われました。

尾北民商の兼松事務局長からは、江南市・大口町の業者を直接支援する制度のあらましが説明され、「小規模・



個人の業者にとって、数万円の支援金でも行政が事業継続の後押しをしてくれることが勇気になる」など、愛知県に小規模事業者への直接支援の必要性を訴えました。

県交渉では、中小業者への直接支援の要望のほかにも、あいスタ認証等の外注についての質問、国保制度・融資制度・納税問題に対する要望などが行われました。



現行の健康保険証を残してください 請願署名にご協力ください！